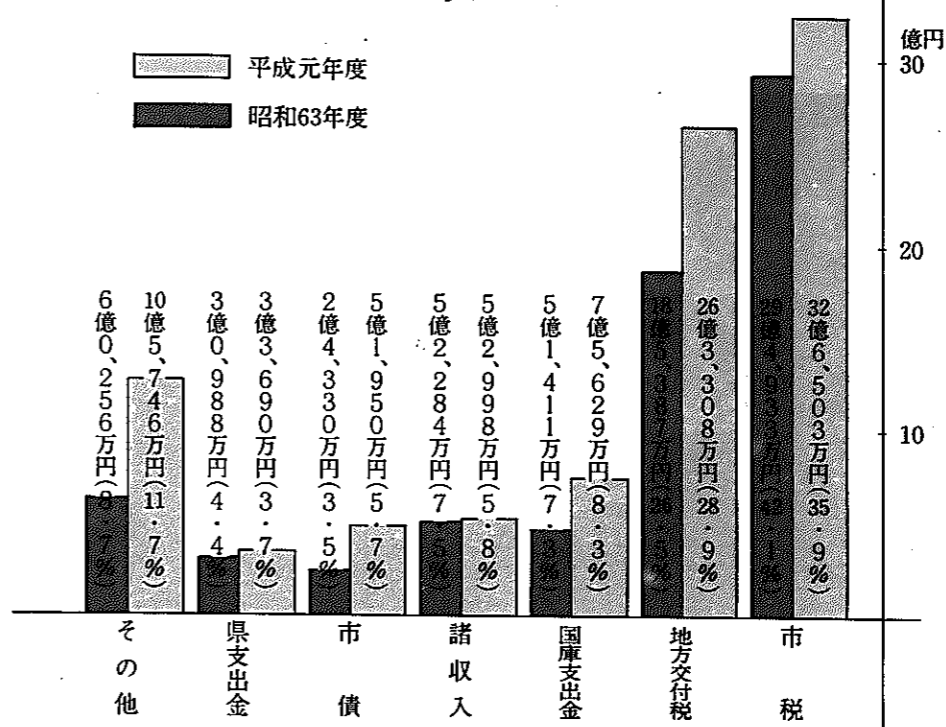


まちづくりが 着実に進んでいます。

平成元年度一般会計の決算状況（見込み）がまとまりましたのでお知らせします。決算額は歳入が九〇億九、八二五万円、歳出が八八億八、七五六万円でした。この決算状況は、今後市議会で審査され、認定を受けて確定します。

歳入 90億9,825万円



平成元年度の当初予算は七十一億三千六百万円でスタート。その後いろいろな行政需要にこたえるため、十回の補正を行いました。決算見込み額は歳入が九十億九千八百二十五万円、歳出が八十八億八千七百五十六万円、差し引き二億一千六十九万円が平成元年度の黒字額となります。

前年度と比べると、歳入では二十一億二百三十四万円（三〇・一％）増加しました。これは市税、特に法人市民税の伸びが大きかったことと、地方交付税の増加が大きき要因です。地方交付税の増加の中で主なもの、市債（財源対策債）の償還に充てるために交付された五億七千八百万円です。これは昭和五十三年から五十六年度までに発行された財源対策債の残高相当額で、平成十三年度までに交付される予定のものが、元年度に一括交付されたもの、今後は償還完了までの相当額が交付税に算入されないこととなります。

このことにより、カルチャーセンター建設などで発行した市債の増

加と併せ、引き続きの確な財政運営が求められています。

歳出では総額が八十八億八千七百五十六万円、前年度に比べて十九億九千六百七十二万円（二九・〇％）の増加となりました。市では財政状況の立て直しを図るため、昭和五十九年度から財政健全化計画を推進しています。平成元年度も経常的経費の節減に努め、市民の皆さんの要望が強い道路などの生活関連施設の整備や、カルチャーセンターの建設など、財源の有効活用を図りました。性質別歳出の内訳を見ると、投資的経費が前年度に比べて大きく増加（八三・〇％増）しています。その主なもの、カルチャーセンター建設事業、根岸小学校増築事業、戸石小学校火災復旧事業などです。

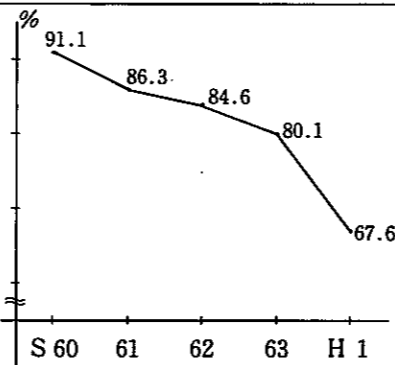
市の財政状況が少しずつ好転しているとはいえ、依然として厳しい状況に変わりはありません。市では今後も長期的な見通しに立ち、一日も早い財政の健全化と、第三次総合計画の着実な進展に向けて努力していきます。

財政状況 チェックポイント

市の財政が健全に運営されているかどうかを見るために、幾つかのチェックポイントがあります。経常収支比率、実質収支比率、地方債許可制限比率の三つについて、過去五年間の推移を見てみましょう。財政健全化計画により、計画的な財政運営が行われ、着実に財政の健全化が進んでいることが分かります。

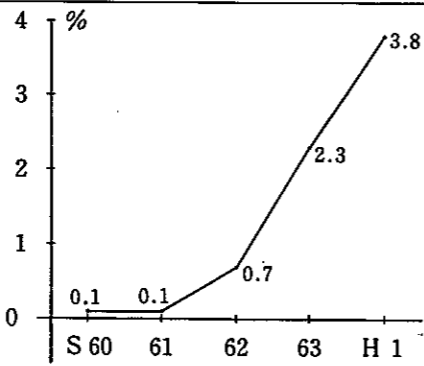
●経常収支比率

人件費や公債費など、継続して固定的に支出される経費に、一般財源がどの程度使われているかを見るもの。七〇％程度なら健全財政。



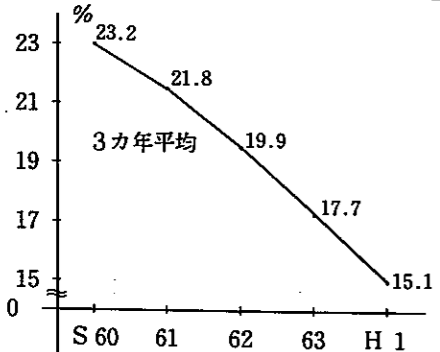
●実質収支比率

標準財政規模に対する実質収支の割合で、三〜五％程度が望ましいとされます。

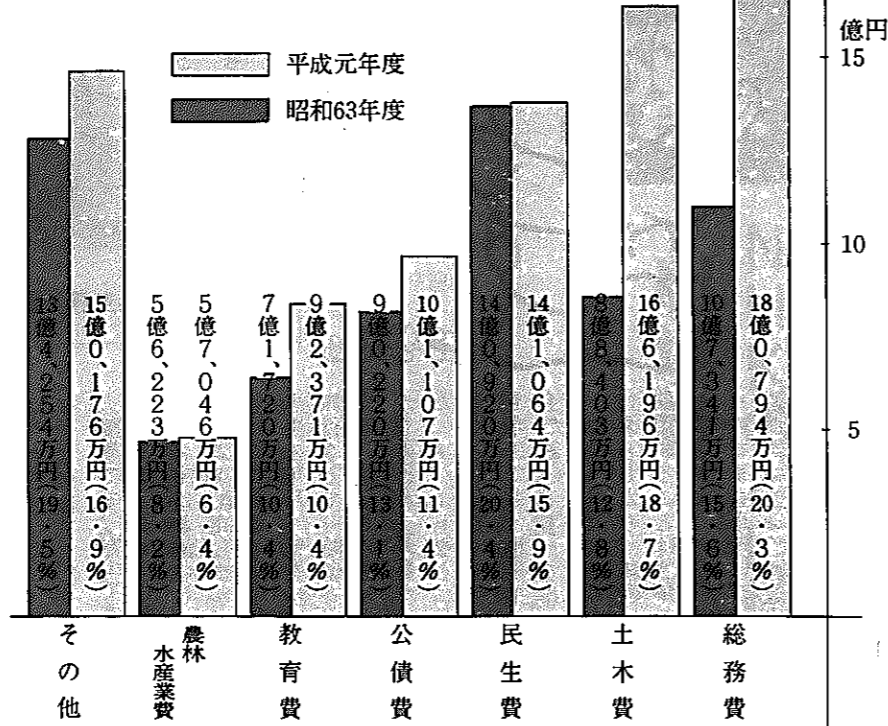


●地方債許可制限比率

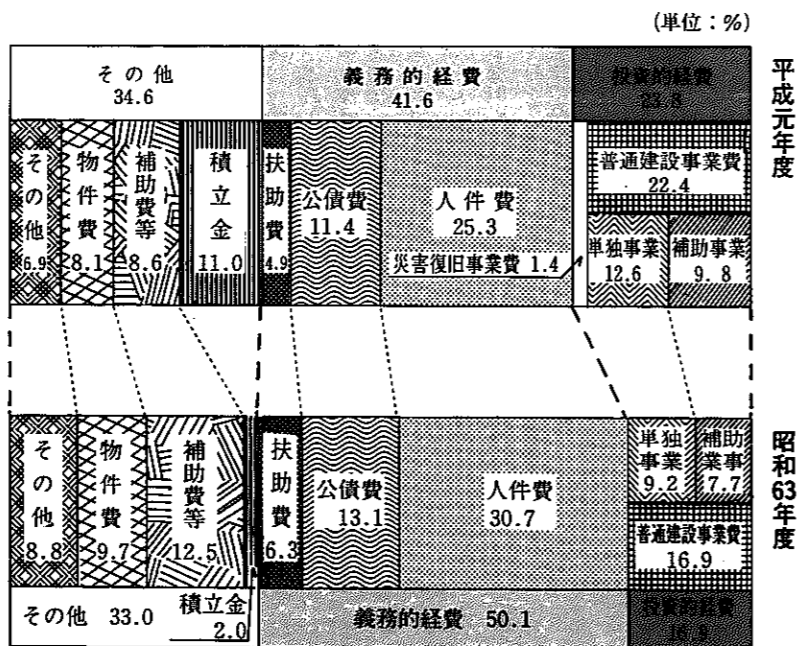
標準財政規模に対する公債費の割合のこと。三カ年平均で二〇％を超えると地方債の発行が制限されます。



歳出 88億8,756万円



性質別歳出の内訳 (構成比)



●平成元年度 主な建設事業

- 白根総合公園建設事業 9億9,971万円
- 道路整備事業 2億7,252万円
- 根岸小学校増築事業 1億5,111万円
- 戸石小学校火災復旧事業 1億2,125万円
- 農村総合整備モデル事業 1億0,395万円
- 街路整備事業 8,127万円
- 地盤沈下対策事業負担金 5,565万円
- 旧白根用水排水路整備事業 3,298万円
- (仮称)北部中学校建設事業 2,715万円
- 小林・大通保育園増築事業 1,744万円



●特別会計決算

○国民健康保険特別会計

歳入……………20億3,523万円
歳出……………18億2,545万円

○老人保健特別会計

歳入……………19億1,077万円
歳出……………19億1,720万円